

2026 年度 総合防災訓練の実施について

2026 年 9 月 9 日
大阪ガス株式会社

大阪ガス株式会社（代表取締役社長 CEO：藤原 正隆、以下「大阪ガス」）は、本日、大阪南部を震源とするマグニチュード 6.2 の地震を想定した Daigas グループ総合防災訓練を実施しました。本訓練では、災害対応業務と並行して事業継続を行う上での課題などを検証し、総合的な災害対応力の強化を図っています。

今年度の訓練は、災害対応力をさらに強化することを目的に、休日昼間に大阪南部を震源とする最大震度 7 の地震が発生したという想定のもと、社長を対策本部長とする本社対策本部を確立し、実践的な初動対応訓練を実施しました。

防災力の一層の向上を図るため、本訓練で発見した課題について、今後各組織で検討を進めていきます。

Daigas グループは、今後も地震などへの災害対策、防災への取り組みを充実させ、より安全に安定して都市ガスをお届けできるよう努めてまいります。

【総合防災訓練の概要】

想定地震	震源：大阪南部
	規模：マグニチュード 6.2
	震度：最大震度 7
	発災時刻：休日 11 時 00 分
参加人数	約 2,000 人
内容	<地震訓練> ・対策本部会議における情報共有・意思決定プロセスの確認 ・各組織での実践的な初動対応訓練の実施 ・BCP発動のための手順の確認

<2026 年度総合防災訓練の様子>



